

品川区地球温暖化対策地域推進計画実績報告

(1) 平成 24 年度実績

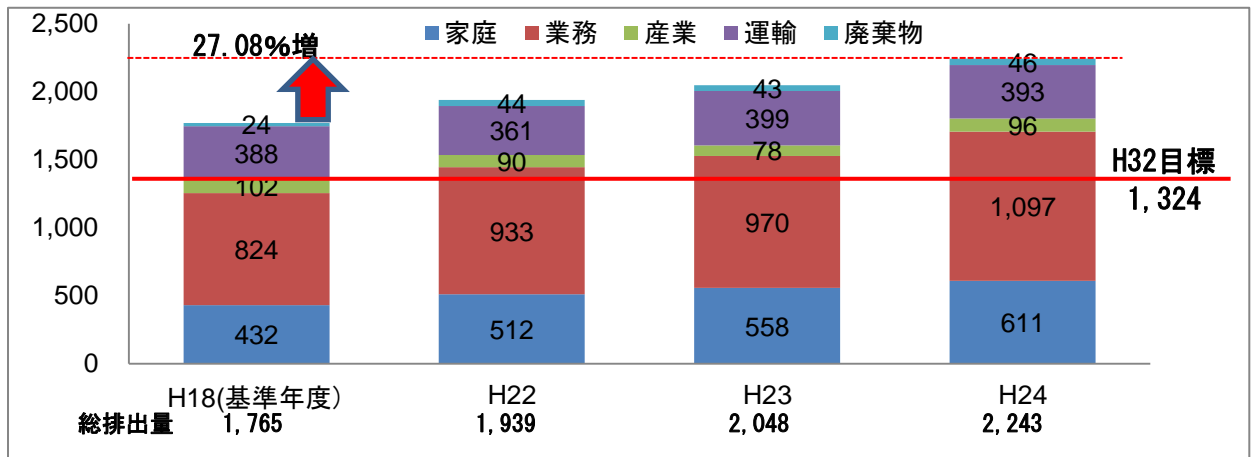
品川区地球温暖化対策地域推進計画は、品川区全体の二酸化炭素（CO2）排出量を管理するものです。（家庭・業務・産業・運輸・廃棄物の各部門の合計）

- ・ 計画期間／平成 22～32 年度 ・ 目標／排出量を 25 %削減
- ・ 基準年度・基準値／平成 18 年度・1,765 kt-CO2
- ・ 目標年度・目標値／平成 32 年度・1,324 kt-CO2

※特別区協議会が集計・算出したデータの提供を受けて算出しているため、直近に提供を受けた平成 24 年度の実績を報告します。

(2) 実績と分析

平成 24 年度の CO2 排出量は 2,243 kt-CO2 となり、27.08 %増となりました。（これまでの推移は以下のグラフのとおりです。）



〔各部門の推移〕

家庭と業務（第三次産業）の部門の増加傾向が続いているため、両部門に重点を置いて、太陽光発電やLED照明等の設置助成を行うとともに、イベントや講座を通じた地球温暖化対策の意識啓発を引き続き進めていきます。

※廃棄物部門の増加は平成 20 年度以降実施した廃プラスチック焼却（サーマルリサイクル）によるものですが、電気・熱の供給や埋立地への輸送量減などにより他部門を減少させる効果もあり、全体の排出量への影響は僅かです。

〔増加要因〕

CO2 排出量は（①エネルギー使用量）×（②CO2 排出係数）で計算するため、それぞれの変化を確認します。

- ①エネルギー使用量については、基準年度の平成 18 年度より減少しています。

H18 25,745 → H24 22,910（単位 TJ・トンジュール）

- ②CO2 排出係数については、電気の係数が東日本大震災以降、大幅に上昇したため、CO2 排出量の増加につながっています。

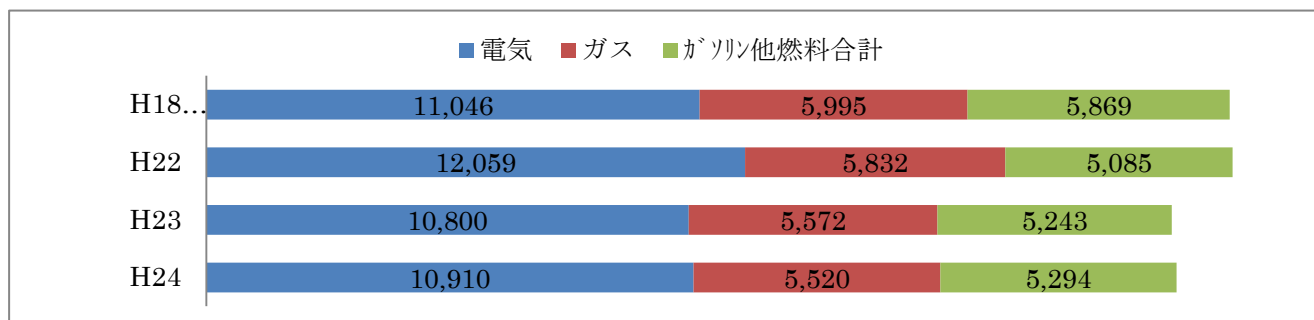
54.87 % (H18 0.339 → H24 0.525 / 単位 kg-CO2/kWh)

- (①・②の詳細については、次ページをご覧ください。)

(3) 補足資料〔エネルギー比率〕

以下のグラフはエネルギー使用量の比率を熱量換算で比較したものです。

(単位 TJ・トンジュール)



平成 24 年度は電気が 50.22%、ガスが 25.41%で、ガソリン等の燃料は 24.37% となっています。

東日本大震災以降、電気のみ CO2 排出係数が大幅に上昇しており、使用量が多いことから排出量増加につながっています。

(※なお、エネルギーごとの使用量の実績値は提供データにありません。)